

Bunka Navi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ…
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

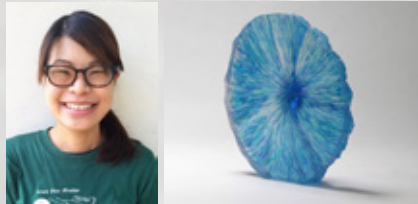
ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品とガラス作家を紹介します。

第6回 川田 絢子 (ガラス作家)

きららガラス未来館のスタッフであり、ガラス作家でもある川田絢子さんは、今年度の「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」において、作品名「emotion」で「株式会社山口銀行賞」を受賞されました。川田さんは、幼いころからキラキラ輝くガラスに興味があったことから、大学でガラス制作に関する技法を学び、在学中に制作した作品が第5回現代ガラス展にて初入選しました。大学卒業後は、きららガラス未来館の技術スタッフとして勤務しながら、ガラス作家として創作活動をされており、これまでに2度の入選と審査員賞を受賞しています。川田さんは、ガラスの透明感が好きで、「制作の際には、ガラスの透明感を生かしながら、日常の中で使うことが楽しくなる作品を心掛けている。また、ガラス制作の体験指導を通して、ガラスの魅力をお伝えしながら、体験者に楽しかったと思ってもらえる時間を過ごして頂きたい」と活動されています。



【emotion】(写真右) 自分で作成したパーツ(色ガラス棒)の重なりにより色や模様を表現。日々の中で感じる、心が揺さぶられるほどの感情、感動を大事にしたいという思いから、始まった作品です。内から外へ広がっていくイメージを、花が咲き開いていく姿とかさね制作しました。

令和2年度山陽小野田市主催文化事業 第14回山陽小野田少年少女合唱祭

12月20日(日)

県内の合唱団が一同に集い、透き通る歌声を披露します。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、客席数を限定し、整理券を配布します。

- ◆とき 開場 13:30 開演 14:00
 - ◆ところ 不二輸送機ホール 大ホール ◆入場料 無料
- ※整理券 180 枚(先着順)を 11 月 23 日(祝) 9:00 から、不二輸送機ホール(文化会館)で配布します。



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ

COLUMN

「白」の観念的な美しさ

心あてに折らばや折らむ初霜の
おきまどはせる白菊の花
凡河内 躬恒

〈現代訳〉当てずっぽうに折るならば折ってみようか。真っ白な初霜が降りて、白菊の花と見分けがつかなくなっているから。

菊が美しく、寒い朝には、初霜も見られる季節となりました。菊は奈良時代に中国から伝わり、貴族たちは競って栽培し、鑑賞しました。当時の菊の花は、小ぶりて、白か黄色でした。「延命草」とも言われ、長生きの薬としてお酒に入れて飲んだり、枕に入れて楽しんだりしました。この歌は、初霜の降りた朝、霜の白さに白菊の白さが紛れて、見分けがつかない様子を詠んでいます。これについて、明治時代に写実的表現を好んだ正岡子規が「初霜が降りたくらいで、白菊が見えなくなるはずはない。嘘の趣向である」と批判したことで有名です。でもその一方で、観念的な誇大な表現によって、身の引き締まるような、冴えわたる美しさ表現することに成功していると感じる方もいるでしょう。あなたはどのように思いますか？